

学校名 鈴鹿市立平田野中学校

学校長名 辻井 康博

令和 8 年度 校内研究実施計画書

1 研究主題及び教科

研究主題	自ら問いをたて,共に高め合う生徒の育成 ～探究のプロセスを活用した「個」と「協働」の循環～
教科・領域	全領域

2 主題設定の理由

学習指導要領では、(1)「何を学ぶか」、(2)「どのように学ぶか」、(3)「何ができるようになるか」が改訂のポイントとして示されている。その内、「何ができるようになるか」では、「生きて働く知識・技能の習得」、「未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力の育成」、「学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養」が重要であるとされる。今後の社会における予測不能な問題を解決するためには、「自分の考え」を持つとともに、他者と考えを伝え合い協働する中で人間性を育み、「自分は何を学び、何ができるようになったのか」を思考して振り返ることで自己認知を高め、社会を生き抜いていく力を形成していく必要がある。

本校の生徒は落ち着いて学校生活を送っており、問題行動を起こす生徒は少ない。授業規律はある程度守られている。しかし、アンケート項目「授業中、進んで発言したり、考えを発表したりしている」に対して肯定的な意見が60%と他項目と比較して低い結果が出ている。一方で、「授業では、自分の考えや疑問を発言しやすい雰囲気がつくられている」に対しては81%の肯定的な意見がある。このことから、授業で自分の考えを発言しやすい雰囲気はあるが、それを発信する機会がなかったり、学びに向かう力が育まれていなかったりすることが推察される。また、「1時間の授業の中で、今何をしているのかわからないことがよくある」では、45%の生徒が当てはまると回答していることから、主にC層D層が授業の中で困り感を抱えていることも推察される。

そこで、本校では昨年より続けている「学び合い」を通して、自分の意見を表現するとともに他者の考えを聴き、互いの考え方の違いを認め合い協働することで困り感を抱えている生徒も学びに向かう姿勢を身につけられるよう取り組んでいく。また、充実したICT環境を生かして、自分の考えを発信しやすい場を設けるとともに、授業力UP5にも位置づけられている「探究のプロセス」【課題の設定(めあて)→情報の収集→整理・分析→まとめ・表現→振り返り】を活用することで生徒が主体となって学びに向かい、この時間を通して何を学んだかを振り返り自分の言葉で概念化していく取り組みをしていく。

以上のことから、自ら問いをたて,共に高めあう生徒の育成～探究のプロセスを活用した「個」と「協働」の循環を目指し、授業改善、学力向上に取り組む。

3 研究内容及び方法(具体的な手立てまで詳しく書いてください)

(1)授業改善・授業研究
① 全教員が公開授業の企画。(授業公開週間、公開授業) ② 校内研修や公開授業の事後検討会において、授業改善に向けての取り組みの提案。 ③ 探究のプロセスを活用できるような「総合的な学習の時間」の授業づくりの提案。 ④ 教材「エナジード」の導入および、それを活用し、「探究のプロセス」を学ぶ教員研修の実施
(2)基礎学力の向上
① 長期休暇に学 VIVA 等を効果的に活用して個に応じた基礎学力の定着を図る。 ② 情報技術を活用した家庭学習や基礎学力の向上の方法を検討する。 ③ よむ YOMU を活用して読解力の向上を目指す。 ④ 「個」に応じた学びが起こる授業を設定した授業改善
(3)研修の取り組みについての分析
① 授業改善を目的とした生徒意識調査・教員意識調査を実施する。 ② 全国学力・学習状況調査、みえスタディチェックを分析する。 ③ 各種通信で結果等を保護者と共有し、学校の取組を発信していく。
(4)校内研修の企画・運営
① 各部会における研修会の企画。(「みんなのひらたの」の視点で) ② 事後検討における講師の派遣依頼、運営。 ③ 研修テーマに沿い教員の資質向上に向けた校内研修の企画・運営

4 年間研修計画

一 学 期	○今年度の校内研修について ○人権教育についての校内研修 ○生徒支援部による校内研修 ○週1回に設定されている教科部会 ○第1回授業公開週間・公開授業(全学年)その後の研修テーマに沿った校内研修 ○全国学力・学習状況調査,みえスタディチェックの分析 <夏季休業中> ○平田野中 校区研修(大学教授による非認知能力の研修・専門部会研修) ○外部講師と連携した、研修テーマに沿った校内研修 ○生成AIを活用するための校内研修
二 学 期	○大学教授を招聘し「家庭学習の確立」に向けた校内研修 ○特相部会による校内研修 ○授業公開週間・公開授業(2年生部)・事後研修 ○研修テーマに沿った校内研修
三 学 期	○公開授業(1年生部)・事後研修 ○次年度に向けて成果と課題